

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を受け、経済学部 2021 年度 AO マルデス入試では、AO マルデス入試ガイド（11 ページ）の記載内容を下記のように変更します。

● [経済学部] 一次審査 全員共通（11 ページ）

書類審査	変更前内容	変更後内容
課題レポート	6月5日（金）に発表されるテーマ（下記を参照）について、1200字程度のレポートを作成し、本学所定の書式に記入してください。 このテーマが、討論力審査(二次審査)の際のグループ討論のテーマになります。しっかりと自分の意見をまとめておきましょう。	6月5日（金）に発表されるテーマ（下記を参照）について、1200字程度のレポートを作成し、本学所定の書式に記入してください。 このテーマが、討論力審査(二次審査)の際のグループ討論のテーマになります。しっかりと自分の意見をまとめておきましょう。

● [経済学部] 二次審査（11 ページ）

審査	変更前内容	変更後内容
一般・帰国生 総合分析力審査	[10:00-11:30 試験時間90分] 配付された資料（和文・英文の文章や図表等）をもとに記述式の試験を行います。資料を正確に分析・理解し、それをもとに表現する力を審査します。	全員共通 オンラインによる発表・質疑応答審査 [試験時間約 25 分] 課題となる文献資料を正確に分析・理解し、それをもとに自分自身の考えを表現する力を個人面接で審査します。
一般・帰国生 討論力審査	課題レポートのテーマについて、5～6名で討論してもらいます。 明確かつ論理的に表現する力を審査します。	文献資料の内容と自身の考えをまとめた発表要旨（レジюме）にもとづく約10分間のプレゼンテーション、発表内容や課題に関する5～10分程度の質疑応答、志望理由や活動歴などについての5分程度の質疑応答を行います。
社会人・外国人 総合分析力審査	[10:00-11:30 試験時間90分] 配付された資料（和文・英文の文章や図表等）をもとに記述式の試験を行います。資料を正確に分析・理解し、それをもとに表現する力を審査します。	二次審査時に使用するA4判1枚（片面のみ）の発表要旨（レジюме）は、11月9日（月）＜消印有効＞までに提出してください。なお二次審査の課題は、10月23日（金）に成蹊大学入試情報サイト「S-NET」でお知らせします。
社会人・外国人 自己表現力審査	個人面接方式で、志望理由書、活動報告書および活動歴に関する資料など、提出された書類の内容を中心に面接を行います。勉強に対する意欲や適性を判断します。	二次審査の課題は、一次審査の課題レポートのテーマとは異なりますので、ご注意ください。

二次審査（発表・質疑応答審査）について

1. 二次審査の内容

二次審査は約 25 分間のオンラインによる個人面接試験（発表・質疑応答審査）です。審査は次の三つの内容で構成されます。

- 1) 10月23日（金）に公開する二次審査の課題にもとづく約 10 分間のプレゼンテーション（発表）。
- 2) 発表内容や課題に関する 5～10 分程度の質疑応答。
- 3) 志望理由や活動歴などについての 5 分程度の質疑応答。

2. プレゼンテーションについて

与えられた時間内に、指定された文献資料をわかりやすくまとめて口頭で説明し、さらにその内容に関して自分自身の考えを述べていただきます。発表はレジюмеにもとづいて行い、志願者はレジюмеおよび指定された資料を手元に置き、参照しながら発表することが可能です。ただし、スマートフォン・パソコン等の映像や文章・図表等を印字したフリップボードを資料として提示することはできません。プレゼンテーションで使用する言語は、日本語です。

3. プレゼンテーションの準備

- （1）文献資料を熟読し、自分の考えをまとめる

課題として指定された文献資料をよく読み、分からないことや関連する情報などは、図書館やインターネットなどで調べる。文献資料の趣旨や要点を理解し、それに対して自分の考えを整理する。

- （2）発表の内容や構成を考える

文献資料の趣旨や要点、自分の考えを聞き手に分かりやすく伝えるには、何をどのような順番で、どのような時間配分で発表したらよいかを考える。

- （3）レジюмеを作成する

下記の「4. レジюмеについて」の注意に従ってレジюмеを作成する。レジюмеも評価の対象となるので、わかりやすいものになるよう心がける。

- （4）リハーサルをおこなう

適切な時間配分になっているか、説明はわかりやすいか、レジюмеは的確にまとまっているか、話す速さや声の大きさは適切か、などに注意して練習する。

4. レジюмеについて

- （1）作成と提出

二次審査には、発表用のレジюмеを準備してください。印刷したレジюме 2 部を、11 月 9 日（月）<消印有効>までに、郵送してください。

郵送方法の詳細は、二次審査の課題を公開する 10 月 23 日（金）にあわせて公表します。必ずご確認ください。

(2) 作成要領

レジュメは、パソコン等を用いて、A4判1枚（片面のみ）に、発表内容をまとめて作成してください。聴き手が文献資料の内容を理解できるよう、文献資料の構成におおむね沿うように、見出しや各章・節の主張・根拠・結論などを短い文章表現（箇条書きや短文）で示してください。省略した部分は、発表の際に口頭で補足しながら説明してください。またレジュメには、文献資料の内容のほかに、必ず発表者自身のコメント（意見や疑問、参考情報など）を含めてください。その際、文献資料の要約と発表者自身のコメントは区別して書くようにしましょう。必要に応じて図表等を載せたりするなど、自由に編集・作成してください。資料の出典や参考文献は明確にする必要があります。なお、出典や参考文献が多いため表面に書ききれない場合は、レジュメの裏面を用いてもかまいません。ただし、裏面を使う場合もA4版1枚に収め、2枚にまたがることのないようにしてください。カラー印刷、白黒印刷は問いません。

(3) その他の注意

二次審査の時間は限られていますので、レジュメを充実させることを優先させてください。

以上